



# すいか

編集・発行 苅田町青少年育成町民会議 ☎093・434・9838



## 少年の主張で、県知事賞を受賞

苅田中学校3年の福江<sup>ひよ</sup>日陽<sup>り</sup>さん

▲ 学校関係者とともに遠田町長（左）に報告に訪れた福江さん（左から2番目）

8月27日、飯塚市コスモスコモンで行われた少年の主張福岡県大会で、苅田中学3年生の福江日陽莉さんが最優秀賞となる福岡県知事賞を受賞しました。

この大会には県内各地から255人がエントリーし、審査を経て福江さんが15名の発表者のひとりに選ばれました。

福江さんは「未来への第一歩」と題して発表。「産後うつ」の問題をとおして、助産婦への夢を語りました。

その結果、参加者の中で最高得点を獲得して、福岡県知事賞を受賞しました。

町民会議からも役員5名が傍聴に出かけ、福江さんの快挙を見届けました。

なお、福江さんは11月12日に東京都の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた少年の主張全国大会に九州ブロックを代表して出場し、奨励賞を受賞しました。

福江さんの主張内容は2ページに掲載しています。

## 福岡県知事賞

## 未来への第一歩

苅田町立苅田中学校3年

福江 日陽莉



「私、この気持ち分かる。」この言葉を母の口から聞いた時、衝撃を受けたことを、今でも鮮明に覚えています。朝、たまたまつけたニュースで、虐待について報道されていました。私は、このニュースを観て、「何でこんなことするんだらう。信じられない。子供が

欲しくても恵まれない人だっているのに。」と怒りを感じました。だから、母からこんな言葉を聞くとは思ってもいなかったのです。

私たち家族はとても仲良しです。五人家族で毎日にぎやかに暮らしています。なのに、どうしても。そんな中、母は話を続けました。

「実は、私もつらい時期があったね。今思えば、産後うつだったのだと思う。」私は少し戸惑いながら、「なら、虐待する人の気持ちとか分かるの?」と尋ねました。すると母は、「うん。分からなくもないかも。自分がやりたいことを上手くできない。言葉で表すのは難しいけど、こんなはずじゃなかったのに」と毎日思っていた。そう答えてくれました。

そこで私は、世の中の産後うつについて調べてみました。まず目にした一文は、「産後うつは十人に一人以上の割合がかかる病気」というものです。私は言葉を失いました。そんなに多くの方々がありました。信じられない。私は小さい子が大好きです。だから産後はとても幸せなものだと思っていたのです。でも、実際はかけ離れていて、酷く残酷なものでした。「初めてで何も分からない。」という

子育てに対する不安。「聞きたいけど、病院の人は忙しそうだから。」という遠慮から誰にも相談できず、一人で抱えこんでしまう。

さらに、ホルモンバランスもくずれ感情的に。終いには、子供が泣き止まないことに対しての苛立ち、焦り、憤り。自分の子供なのに、かわいく感じない。こんな母親失格では?と思いついて、「死にたい」という感情がわいてきたり、子供を傷つけてしまう行動に至ったりしてしまうそうです。

こんなことがあつて良いのでしょうか。子供を授かるということとは幸せなことではないのでしょうか。私はこの「今」を変えたい。

今は、「産後うつ」と検索すると、数多くの体験談が出てくる状況です。多くの母親が産後うつに悩み、多くの子供が傷ついています。今は、少子化も進んでいる時代。生まれてきてくれた子には、幸せな道を歩んでほしい。産後うつの治療法としては、話を聞いてもらうことだそうです。そのため、母は今、産後約一ヶ月の親子のもとに訪れ、赤ちゃんの体重を量るとともに、母親の話を聞いたりする職業をしています。そんな母を私は誇りに思っています。「自分の経験をもとに人を助ける母を見て、

これこそが本当の思いやりだ」と私は思っています。

また、このことを知って、私は「助産師になりたい」という大きな夢を持つことができました。みなさんは助産師とはどのような仕事をしている人だと思いますか? 私は出産のお手伝いをするだけだと思っていました。でも実際は、産後の母親のケアをしたりもするのです。私は助産師となり、多くの人の話を聞き、アドバイスを送ることで、産後も充実した日々を送ってほしいです。それが、子供を救うことにもつながると思います。

最後に、私は今、虐待のニュースを目にした時の感じ方が以前とは変わっています。今は、「もし私がこの人の近くにいたら何ができたか」を考えるようにしています。「物事を捉える時には想像力を最大限に働かせる」これこそが、協力し合える環境作りの大きな鍵になるのではないのでしょうか。そのために私は残り少ない中学校生活の中で多くの経験を積み、その都度今自分にできることを考え相手の気持ちを想像して行動するようになりたいです。それが、私の築きたい未来への第一歩だと信じて。





▲ 県大会（写真上）と苅田町大会の様子（写真下）



## 初の紙ヒコーキ大会を開催

紙ヒコーキ。

誰でも一度は作ったことがあると思いますが、現在、正式な競技として行われていることをご存じですか？ 競技には、滞空時間を競う飛行時間部門と飛んだ距離を競う飛行距離部門があります。

福岡県青少年育成県民会議では、今年度から「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」の一環として、折り紙ヒコーキ大会を主催することになり、市町村に対して参加要請がありました。

これを受けた町民会議では、8月26日に南原小体育館で体験会を実施した後、10月22日に同館で、県大会予選を兼ねて初の苅田町折り紙ヒコーキ大会（小学生対象）を開催しました。

競技はA4版の紙を選手が自ら折り、自作のヒコーキで飛んだ距離と滞空時間を競います。県大会参加記録は距離部門が10メートル以上、時間部門が4秒以上です。

参加者は町教育委員会の職員の指導でヒコーキを折り、一部門で二回チャレンジしました。練習ではうまくいったのに、本番では緊張して失敗する子が続出。予選を通過したのは距離部門で6名、時間部門で1名でした。最高記録は距離部門が16m93、時間部門が6秒10で、いずれも苅田小学校の阿部優希さんでした。

予選通過者は12月3日に太宰府市のとびうめアリーナで行われた福岡県大会に出場。入賞者は出ませんでした。緊張感を楽しみました。町民会議では、来年度、本格的な大会を計画しています。

### レーザー計測器を購入

町民会議では、折り紙ヒコーキ大会の計測に必要なレーザー計測器を購入しましたので、紙ヒコーキ大会を開いてみたい団体は事務局（TEL093・434・9838）までお問い合わせください。





## 4年ぶりに、木工教室再開！

10月8日に行われた子どもフェスティバルの中で、町民会議主催の木工教室が行われました。この教室は、子どもフェスティバルの恒例行事として町民会議が実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため3年間、中止されていました。

この日は、約60人の子どもたちが参加、自由な発想で工作を楽しみました。木工教室で使用した木製の工作キットは、障がいを持った方が自立をめざ

すNPO法人・森の学校（豊前市）の皆さんが制作してくれたものです。  
また、令和6年2月4日に行われた中央公民館まつりでも開催されました。







▲ 石塚山古墳の墳丘体験



▲ 綾塚古墳の石室内部



▲ 甲塚方墳



## 古墳にコーファン？

### 古墳のカタチを学ぶ見学会開催

7月30日、親子ふれあい広場・自主研究企画として、「古墳のカタチにこだわるタイムスリップの旅」を実施しました。小中学生ら約20人が参加しました。

まず、役場横の石塚山古墳を見学。

苅田町の藤野好博学芸員の説明を受けながら、ただの森にしか見えない丘陵が約千八百年前の前方後円墳であることを墳丘に登って体験しました。

その後、みやこ町に移動して、綾塚古墳（円墳）と甲塚方墳（方墳）を見

学。みやこ町の井上信隆学芸員の案内で、時代とともに前方後円墳が円墳や方墳へとカタチが変わっていく意味を考えました。

また、綾塚古墳では、石室内を特別に見学させていただき、巨石で造られた石室に参加者から驚きの声が上がっていました。

町民会議では、新年度以降も、ふるさとの歴史遺産を見学する講座を開催する予定です。





## マザーグースが県民会議から表彰

▲ 写真上：オアシス運動啓発公演の様子（令和4年 苅田第一幼稚園）

▲ 写真下：県民会議総会での表彰式の様子（5月31日 福岡リーセントホテル）

人形劇サークル・マザーグース（濱田順子代表）が、福岡県青少年育成県民会議より、青少年育成団体表彰を受けました。

マザーグースは平成5年に結成、オアシス運動啓発のため、町内の幼稚園・保育園12園を対象に人形劇などの公演を行ってきました。

この活動が評価され、5月31日の県民会議総会の席で表彰されました。

### 家庭の日・オアシス運動

#### 応募作品入賞者

福岡県青少年育成県民会議が募集した令和5年度家庭の日・オアシス運動作品に苅田町より次の方々が入賞しました。

▼ 作文の部奨励賞 中村優太（苅田中1年） 古賀美々（苅田中3年）

▼ ポスターの部奨励賞 吉野篤史

（馬場小4年） 蛭名彩華（馬場小5年）

坪井七海（馬場小5年） 蓑田結萌（苅田中1年）



# 令和5年度事業報告

4月14日 理事会

4月21日 総会

会長を4期8年続けていただいた三角主計会長が3月末をもって勇退されることになり、総会において新しい会長に和田誠さんが選任されました。

令和5年・6年度の役員は次の方々です。

▼顧問 遠田孝一（苅田町長）

▼相談役 三角主計（前会長）

▼会長 和田誠（幼稚園連盟）

▼副会長 出口正敏（理事長兼務）小笠正範（交通安全指導委員）

▼理事 川原実徳（苅田商工会議所青年部）照山功（苅田町文化協会）野川佳寿子（苅田町民生委員・児童委員）松枝玲子（前苅田町民生委員・児童委員）高橋恭三（京都保護区保護司会）田口裕士（苅田中学専任補導）白川幹生（行橋警察署少年補導員苅田支部）

▼監事 首藤正治（苅田町体育協会）濱田嗣視（人権擁護委員）

総会終了後、行橋警察署の吉田正信生活安全課長より、「行橋警察署管内の青少年犯罪等の状況」について、講和をいただきました。

4月26日 県民会議研修会

5月10日 町民会議新三役、苅田町長表敬訪問

5月31日 県民会議総会

6月23日 青少年を取り巻くサイバー犯罪に関する講演会

福岡県飯塚少年サポートセンターの石川弘憲係長をお迎えして、闇バイトやサイバー犯罪の危険性について講演していただきました。



6月23日 オアシス啓発人形劇公演（白川保育園）

6月29日 オアシス啓発人形劇公演（苅田幼稚園）

7月6日 オアシス啓発人形劇公演（青い鳥ベビーアネックス）

7月12日 オアシス啓発人形劇公演（尾倉すみれ幼稚園）

7月14日 有害図書要望書提出

7月19日 オアシス啓発人形劇公演（青い鳥保育園）

7月19日 夜間パトロール（白川地区）

7月30日 親子ふれあい広場・自主研究企画「古墳のカタチにこだわるタイムスリップの旅」（苅田町くみやこ町）

8月4日 役員会議

8月16日 県民会議「TAKE OFF DAY」参加

8月26日 折り紙ヒコーキ講習会（南原小）

8月27日 県民会議少年の主張福岡県大会（飯塚市）

9月1日 オアシス啓発人形劇公演（第2ひまわり保育園）

9月4日 オアシス啓発人形劇公演（第一ひまわり保育園）

9月15日 オアシス啓発人形劇公演（与原保育園）

9月26日 オアシス啓発人形劇公演（善立寺保育園）

9月30日 折り紙ヒコーキ九州大会（小倉北体育館）

10月4日 オアシス啓発人形劇公演（苅田第一幼稚園）

10月8日 子どもフェスタ・木工教室（中央公民館）

10月18日 夜間パトロール（小波瀬地区）

10月22日 苅田町折り紙ヒコーキ大会（南原小）

10月25日 オアシス啓発人形劇公演（苅田みどり幼稚園）

10月27日 オアシス啓発人形劇公演（若久青い鳥保育園）

10月28日 「吉田兄弟の功績と漫画化」井上信隆講演会

11月14日 有害図書要望書提出

12月3日 折り紙ヒコーキ福岡県大会（太宰府市）

12月15日 スマホの使い方リーフレット配布

令和6年1月16日 役員会議

1月17日 夜間パトロール（北公民館地区）

2月4日 中央公民館まつり・木工教室



## 学 校 紹 介

# 苅田町立馬場小学校

馬場小は、夢と活力 笑顔でチャレンジ！

風の子・太陽の子

## <学校教育目標>

自ら意欲的に学び、心豊かにたくましく実践していく子どもの育成

学ぶ喜びを  
実感する授業

**自** 分らしい目標に  
挑戦する楽しさ

**問** 題解決の過程を  
ふむ喜び

**対** 話し、高め合う喜び



目標をもって挑戦し、学び合う中で  
自分のよさをひらく子どもの育成

## <令和5年度のスローガン>

一人残らず みんな輝く！

対話し 創り出す子ども  
(創造)

互いを 思い合う子ども  
(寛容)

自分で考えて 行動する子ども  
(自律)

互いを認め合い  
支え合う集団

**児** 童会活動の充実



児童会考案  
馬場小マスコット



あいさつ  
運動

**絆** を深めるふれあい活動



babaランド



高学年による  
お世話活動

馬場小学校  
コミュニティスクール

学校・家庭・地域等が一体となり、子どもを大切にし、地域と共にある学校

**み** んなで築く馬場小のよい校風



馬場小見守り隊



大きなポケット



環境美化活動

**み** んなで守り育てる地域の宝 地域連携学習の充実



6年生  
地域の宝さがし



4年生  
殿川ホテルの放流



3年生  
馬場っ子ファーム



5年生  
めざせ！防災キッズ